

令和７年度 碧南市病院事業報告書

1 概況

（１）総括事項

ア 業務状況

碧南市民病院は開院３７周年を迎え、この間、地域の二次救急医療機関として、また市民の生命と健康を守る地域の中核的な病院として役割を果たすべく尽力してまいりました。

今年度は患者の利便性向上や医療ＤＸの一環として、電子カルテを更新しました。新しい電子カルテシステムにはＡＩや音声認識技術が搭載されており、より迅速かつ正確な情報共有が実現し、医療の質がさらに高まることが期待されます。

また、電子カルテと連携するマイナンバーカードを利用した電子処方箋システムやバイタルデータ自動取り込みシステム、電子署名システム等を導入した他、森林環境譲与税を財源として１階エントランスホール待合の椅子と机の更新を行い、より良質なサービスの提供を行えるよう院内環境を整備しました。

また、経営面にあたっては、９月に市から発出された財政非常事態宣言に伴う緊急行財政対策の重点対策項目に掲げられた医師及び非常勤医師の精査、不採算診療科の在り方の検討及び夜間救急体制の制限の検討の３項目について、市民病院緊急経営対策会議を開催し検討を進めました。重点対策の３項目の他、各費用の見直しによる支出の抑制や心臓カテーテル治療アブレーションの導入など経営改善に向けた即効性のある様々な取り組みに着手しました。

その他、医師の確保対策としましては、近隣医大の医局訪問を継続して行っており、今年度から循環器内科の医師が１人増員となりました。一方、年度中に精神科、外科、整形外科で各１人の退職があり、この結果、年度末現在の医師数は前年度末より２人減の５２人となりました。今後も診療体制の充実を図ってまいります。

経営状況につきましては、医業収益では、入院・外来患者数及び入院診療単価の減により、前年度対比８１，３０３千円余の減となりました。入院患者一人当たりの診療単価は前年度対比３５５円減の５８，０５７円、外来患者一人当たりの診療単価は前年度対比２１２円増の１４，１９５円となりました。また、医業外収益は主に国からの補助金及び市からの繰入金により、２３４，０９９千円余の増となりました。

また、医業費用では主に人事院勧告に伴う給与費や物価高騰の影響による材料費の増により、前年度対比256,634千円余の増となりました。

結果として、令和7年度は1,712,989千円余の純損失となり、前年度対比308,910千円余の悪化となりました。

イ 患者数

入院患者（退院含む。）は、67,875人（1日平均186.0人）で、前年度対比152人の減、また、外来患者数（時間外含む。）は、133,757人（1日平均552.7人）で、前年度対比6,793人の減となりました。

ウ 収益的収支

病院事業収益は7,252,699千円余、病院事業費用は8,965,689千円余で、当期純損失は1,712,989千円余となりました。

エ 資本的収支

資本的収入は3,447,073千円、資本的支出は1,851,916千円余で、差引額1,595,156千円余の収入超過となりました。

収入については、一般会計からの繰入として出資金234,024千円、一般会計からの補助金1,745,329千円、企業債1,466,400千円、看護師修学資金返還金として1,320千円を受け入れました。

支出については、市民病院ボイラー更新工事、市民病院吸引ポンプ更新工事及び市民病院病院情報システム更新業務委託等の建設費として1,234,053千円余、全身用X線CT診断装置、内視鏡システム等の機器備品を購入するための資産購入費として157,724千円余、他に企業債償還金（元金）として444,418千円余、投資として医師、看護師等修学資金貸付金15,720千円を執行しました。

（2）経営指標に関する事項

令和7年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、主に人件費の増に伴い医業費用が増加したことにより、前年度対比1.9ポイント悪化し81.7パーセントとなりました。経営の収益性を示す修正医業収支比率についても、入院・外来患者数及び入院診療単価の減に伴い医業収益が減少したことに対し、医業費用は増加したため、前年度対比3.3ポイント悪化し70.1パーセントとなりました。

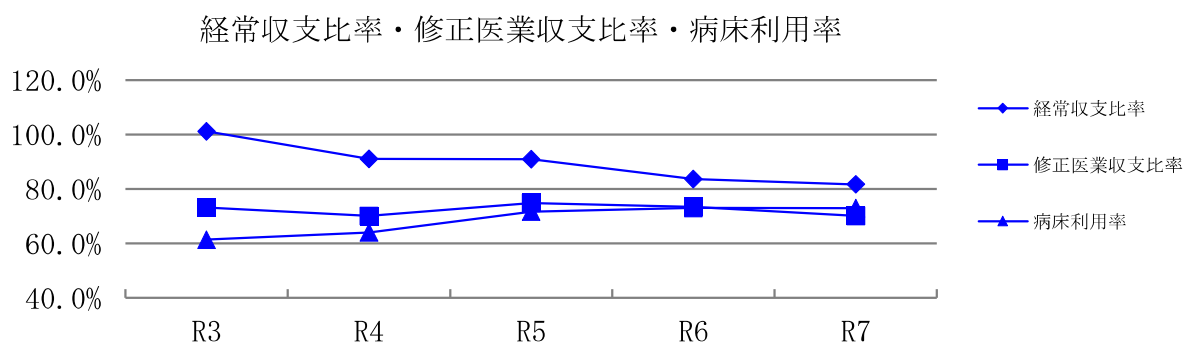
また、病床利用率につきましては、令和7年度は電子カルテの更新に伴う診療制限により、前年度対比0.2ポイント悪化し72.9パーセントとなりました。今後も更なる病床利用率の向上を目指すとともに、入院患者ひとりひとりに寄り添い、質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。

	R3	R4	R5	R6	R7
経常収支比率	101.1%	91.0%	91.0%	83.6%	81.7%
修正医業収支比率	73.2%	70.1%	74.8%	73.4%	70.1%
病床利用率	61.4%	64.0%	71.7%	73.1%	72.9%

【経常収支比率＝(経常収益／経常費用)＊100】

【修正医業収支比率＝((医業収益－他会計負担金)／医業費用)＊100】

【病床利用率＝(年延入院患者数／年延病床数)＊100】



令和7年度 患者状況総括表

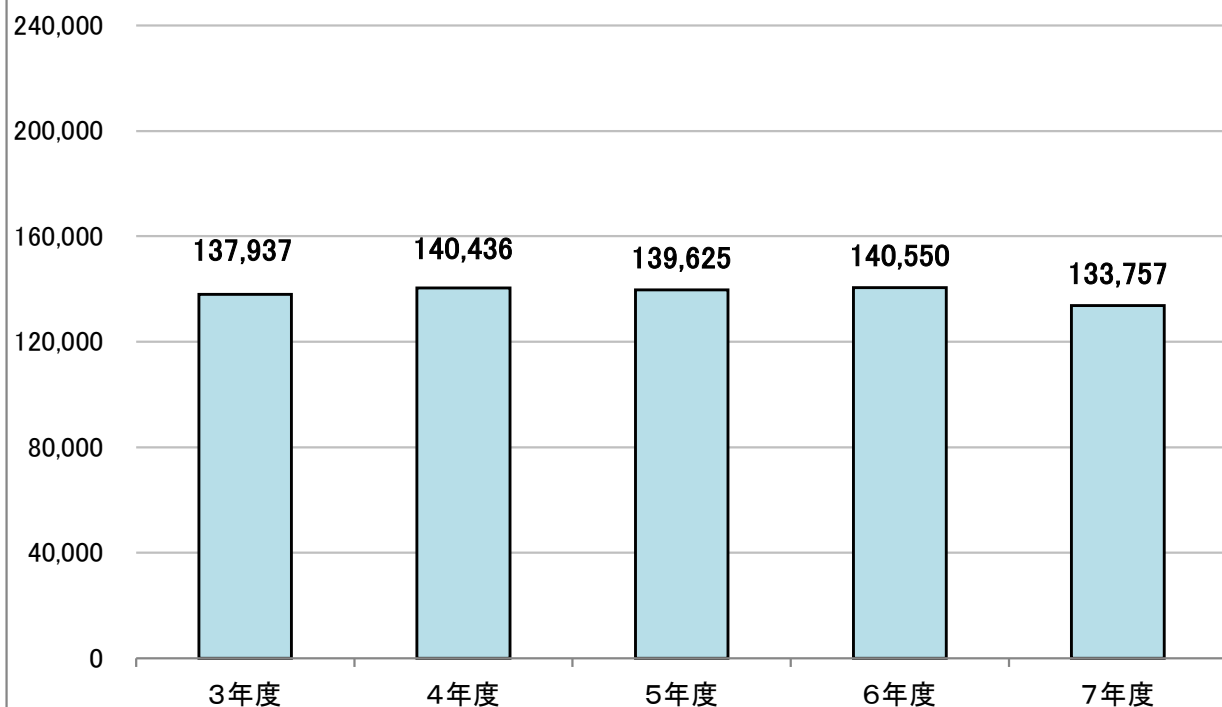
外来患者数（診療科別）

区分	7年度				6年度	前年度対比	
	延患者数(人)			構成比 (%)	延患者数 (人)	増減 (人)	増減率 (%)
	総数	時間内	時間外				
内科	33,417	29,977	3,440	25.0	32,789	628	1.9
精神科	2,934	2,933	1	2.2	5,899	△ 2,965	△ 50.3
神経内科	7,902	7,573	329	5.9	8,063	△ 161	△ 2.0
小児科	7,189	6,869	320	5.4	7,867	△ 678	△ 8.6
外科	7,177	6,988	189	5.4	7,596	△ 419	△ 5.5
整形外科	18,101	16,989	1,112	13.5	19,424	△ 1,323	△ 6.8
脳神経外科	3,192	2,754	438	2.4	3,205	△ 13	△ 0.4
呼吸器外科	142	142	0	0.1	81	61	75.3
皮膚科	6,933	6,659	274	5.2	7,426	△ 493	△ 6.6
泌尿器科	7,570	7,317	253	5.7	7,912	△ 342	△ 4.3
産婦人科	8,465	8,423	42	6.3	10,079	△ 1,614	△ 16.0
眼科	5,194	5,148	46	3.9	4,793	401	8.4
耳鼻いんこう科	8,435	8,084	351	6.3	8,938	△ 503	△ 5.6
歯科口腔外科	15,690	15,467	223	11.7	15,070	620	4.1
放射線科	1,032	1,032	0	0.8	1,047	△ 15	△ 1.4
麻酔科	384	383	1	0.3	361	23	6.4
計	133,757	126,738	7,019	100.0	140,550	△ 6,793	△ 4.8
診療日数(日)	242					243	
日平均(人)	552.7					578.5	

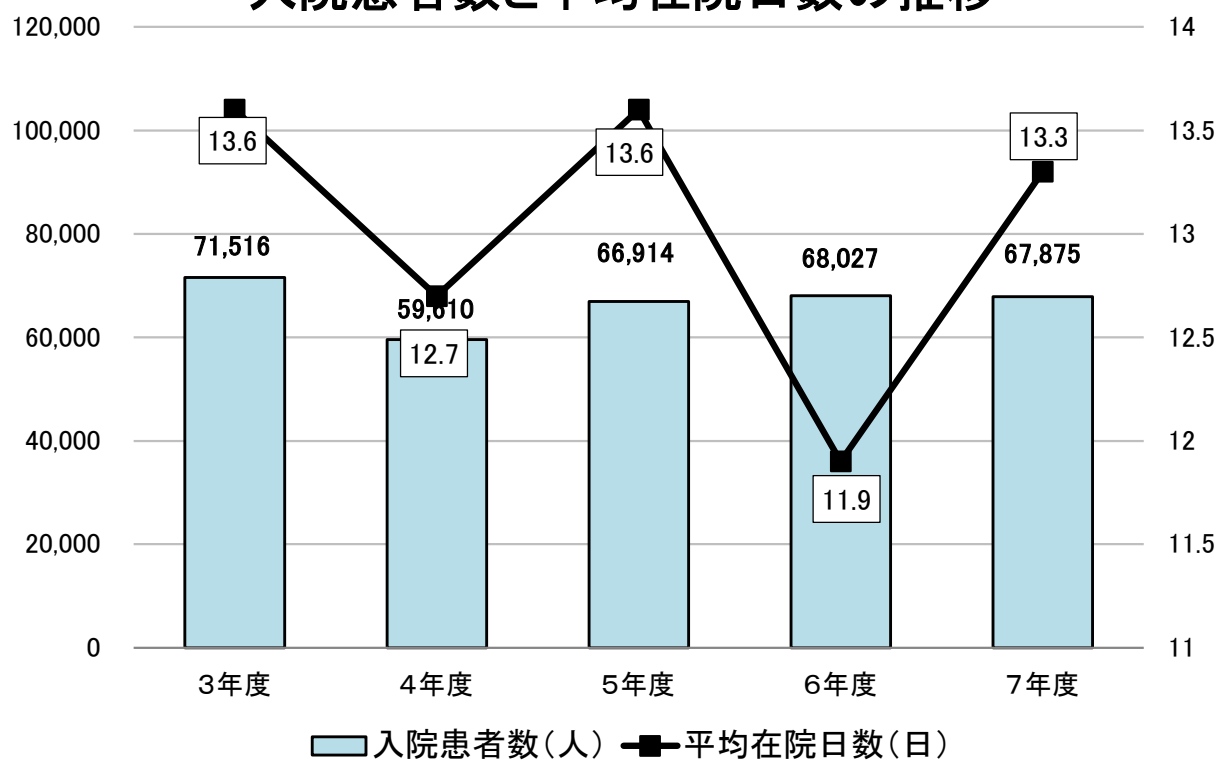
入院患者数（診療科別）

区分	7年度			6年度	前年度対比	
	延患者数(人)	平均在院日数	構成比(%)	延患者数(人)	増減(人)	増減率(%)
内科	25,518	19.1	37.6	25,784	△ 266	△ 1.0
神経内科	8,162	16.1	12.0	9,121	△ 959	△ 10.5
小児科	1,338	4.4	2.0	3,264	△ 1,926	△ 59.0
外科	6,926	10.2	10.2	6,540	386	5.9
整形外科	15,348	24.8	22.6	13,748	1,600	11.6
脳神経外科	1,897	18.6	2.8	2,031	△ 134	△ 6.6
泌尿器科	2,185	12.3	3.2	1,751	434	24.8
産婦人科	1,396	7.7	2.1	1,181	215	18.2
眼科	471	1.0	0.7	482	△ 11	△ 2.3
耳鼻いんこう科	1,652	7.2	2.4	1,783	△ 131	△ 7.3
歯科口腔外科	2,982	3.5	4.5	2,342	640	27.3
計	67,875		100.0	68,027	△ 152	△ 0.2
平均在院日数(日)	13.3			11.9		
日平均(人)	186.0			186.3		

外来患者数の推移(人)



入院患者数と平均在院日数の推移



	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
常勤医師数(人)(年度末現在)	45	47	48	54	52

令和7年度病院事業決算対比表

	(税抜き)				備考 (項目の説明)
	令和7年度 決算額 (千円)	令和6年度 決算額 (千円)	対前年度決算		
			比較増減 ①－②	比較増減％ (①－②) / ②	
1 収益的収支	▲ 1,712,989	▲ 1,404,079	▲ 308,910	22.0	病院事業収益－病院事業費用

1-1 病院事業収益

病院事業収益					
1 医業収益					
① 入院収益	7,252,700	7,099,884	152,816	2.2	
② 外来収益	6,031,883	6,113,186	▲ 81,303	▲ 1.3	
③ その他医業収益	3,901,280	3,933,985	▲ 32,705	▲ 0.8	
2 医業外収益	1,832,918	1,885,129	▲ 52,211	▲ 2.8	
① 受取利息	297,685	294,072	3,613	1.2	個室使用料、検診・相談料、文書料、一般会計負担金 (救急医療) 等
② 他会計補助金	1,219,487	985,388	234,099	23.8	
③ 補助金	109	1	108	10,800.0	
④ 他会計負担金	0	0	0	-	
⑤ 寄附金	192,911	28,979	163,932	565.7	賃上げ・物価上昇に対する支援事業、愛知県医療機関等物価高騰対策支援金 等
⑥ 長期前受金戻入	956,137	881,844	74,293	8.4	一般会計負担金 (高度医療等)
⑦ その他医業外収益	1,040	3,230	▲ 2,190	▲ 67.8	個人、法人等からの寄附金
3 特別利益	30,034	34,602	▲ 4,568	▲ 13.2	
	39,256	36,732	2,524	6.9	職員住宅利用料、職員駐車場利用料 等
	1,330	1,310	20	1.5	過年度の調定

1-2 病院事業費用

病院事業費用					
1 医業費用					
① 給与費	8,965,689	8,503,963	461,726	5.4	
ア 給料	8,387,674	8,131,040	256,634	3.2	
イ 手当	4,897,575	4,641,139	256,436	5.5	
ウ 報酬	1,667,674	1,590,634	77,040	4.8	正規職員 (医師、看護師、医療技術員、事務員)、会計年度任用職員 同上
エ 法定福利費	1,475,146	1,482,248	▲ 7,102	▲ 0.5	
オ 賞与引当金繰入額	684,930	635,114	49,816	7.8	会計年度任用職員報酬等
カ 法定福利費引当金繰入額	641,648	565,667	75,981	13.4	健康保険、都市共済等負担金 等
キ 退職給付引当金繰入額	296,707	256,838	39,869	15.5	
ク 材料費	56,296	46,826	9,470	20.2	
	75,174	63,812	11,362	17.8	
	1,434,335	1,428,040	6,295	0.4	

令和7年度病院事業決算対比表

		(税抜き)		(税抜き)		備考 (項目の説明)
		令和7年度 決算額 (千円) ①	令和6年度 決算額 (千円) ②	対前年度決算 比較増減 ①－②	比較増減％ (①-②)/②	
ア	薬品費	843,357	886,257	▲ 42,900	▲ 4.8	投薬・注射用医薬品費等
イ	診療材料費	537,016	491,447	45,569	9.3	
ウ	給食材料費	51,148	47,167	3,981	8.4	患者給食食材費、給食用具類
エ	医療消耗備品費	2,814	3,169	▲ 355	▲ 11.2	
③	経費	1,498,670	1,469,786	28,884	2.0	
ア	報償費	302	256	46	18.0	各種謝礼
イ	旅費交通費	3,864	3,489	375	10.7	会計年度任用職員交通費等
ウ	職員被服費	0	559	▲ 559	皆減	賃借料へ節変更
エ	消耗品費	37,028	40,931	▲ 3,903	▲ 9.5	
オ	消耗備品費	5,943	6,870	▲ 927	▲ 13.5	
カ	光熱水費	179,073	176,468	2,605	1.5	
キ	燃料費	51,188	45,251	5,937	13.1	重油、プロパンガス、ガソリン
ク	食糧費	22	11	11	100.0	
ケ	印刷製本費	2,902	3,926	▲ 1,024	▲ 26.1	診療・事務用帳票類等
コ	修繕料	51,633	53,772	▲ 2,139	▲ 4.0	医療機器・施設備品等修繕料
サ	保険料	11,011	12,539	▲ 1,528	▲ 12.2	病院賠償責任等保険料、医療従事者賠償責任保険料等
シ	賃借料	149,746	141,471	8,275	5.8	寝具・病衣・白衣、住宅療法用装置借上料等
ス	通信運搬費	6,738	7,755	▲ 1,017	▲ 13.1	電話料、郵送料等
セ	委託料	973,305	965,300	8,005	0.8	医療事務、給食、設備保守点検等
ソ	諸会費	2,463	2,495	▲ 32	▲ 1.3	全自病会費、公立病院会費等
タ	広告料	0	5	▲ 5	皆減	広告掲載料
チ	手数料	8,725	7,682	1,043	13.6	各種届出・検査手数料、クレジットカード利用手数料等
ツ	交際費	23	91	▲ 68	▲ 74.7	
テ	公租公課費	85	9	76	844.4	油ヶ淵悪水土地改良区費、自動車重量税
ト	貸倒引当金繰入額	500	589	▲ 89	▲ 15.1	
ナ	雑費	14,119	317	13,802	4,353.9	時間外手当遡及遅延損害金、未払い賃金等請求事件遅延損害金等
④	減価償却費	520,697	558,034	▲ 37,337	▲ 6.7	
ア	建物減価償却費	217,354	217,354	0	0.0	
イ	建物附属設備減価償却費	90,731	96,695	▲ 5,964	▲ 6.2	
ウ	構築物減価償却費	6,808	8,903	▲ 2,095	▲ 23.5	
エ	器械備品減価償却費	177,458	217,619	▲ 40,161	▲ 18.5	
オ	車両運搬具減価償却費	0	0	0	-	

令和7年度病院事業決算対比表

	令和 7 年度 決算額（千円） ①	令和 6 年度 決算額（千円） ②	対前年度決算		備考（項目の説明）
			比較増減 ①－②	比較増減％ (①－②)/②	
力 無形固定資産減価償却費	28,346	17,463	10,883	62.3	
⑤ 資産減耗費	10,702	10,275	427	4.2	
ア たな卸資産減耗費	3,517	4,024	▲ 507	▲ 12.6	
イ 固定資産除却費	7,185	6,251	934	14.9	
⑥ 研究研修費	25,695	23,766	1,929	8.1	
ア 研究材料	3,212	3,125	87	2.8	医学用図書等検索システム等
イ 謝金	658	880	▲ 222	▲ 25.2	研修会講師謝礼等
ウ 図書費	6,335	6,347	▲ 12	▲ 0.2	医学用図書、雑誌
エ 旅費	7,853	7,670	183	2.4	
オ 研究雑費	7,637	5,744	1,893	33.0	研修等参加者負担金
2 医療外費用	488,111	363,060	125,051	34.4	
① 支払利息	12,085	10,936	1,149	10.5	
② 医師確保対策費	10,050	7,747	2,303	29.7	
③ 看護師確保対策費	13,110	3,805	9,305	244.5	看護師修学資金免除引当金繰入額等
④ 看護師養成費	2,806	2,680	126	4.7	新人看護師研修等
⑤ 院内保育所費	22,437	22,422	15	0.1	院内保育運営業務委託料等
⑥ 雑支出	427,623	315,470	112,153	35.6	課税仕入分消費税
3 特別損失	89,904	9,863	80,041	811.5	
① 過年度損益修正損	89,904	9,863	80,041	811.5	時間外手当遡及支払額等

令和7年度病院事業決算対比表

		(税抜き)		(税抜き)		備考 (項目の説明)
	令和7年度 決算額 (千円)	令和6年度 決算額 (千円)	対前年度決算 比較増減 ①-②	比較増減 % (①-②)/②		
2	資本的収支	1,595,156	312,459	1,282,697	410.5	資本的収入－資本的支出
2-1 資本的収入						
資本的収入						
1	出資金	3,447,073	950,799	2,496,274	262.5	
①	他会計出資金	234,024	211,079	22,945	10.9	
ア	一般会計出資金	234,024	211,079	22,945	10.9	負担区分に基づく一般会計出資金
2	補助金	1,745,329	507,620	1,237,709	243.8	
①	他会計補助金	1,745,329	507,620	1,237,709	243.8	
ア	一般会計補助金	1,745,329	507,620	1,237,709	243.8	一般会計補助金 (経営安定化)
②	国・県補助金	0	0	0	-	
3	企業債	1,466,400	227,900	1,238,500	543.4	病院設備更新事業、医療機器等整備事業、システム等更新事業
4	財産収入	1,320	4,200	▲ 2,880	▲ 68.6	
①	投資回収金	1,320	4,200	▲ 2,880	▲ 69	
ア	長期貸付金回収金	1,320	4,200	▲ 2,880	▲ 68.6	医師確保修学資金返還、看護師等修学資金返還
5	固定資産売却代金	0	0	0	-	
2-2 資本的支出						
資本的支出						
1	建設改良費	1,851,917	638,340	1,213,577	190.1	
①	建設費	1,391,779	256,180	1,135,599	443.3	
ア	工事請負費	1,234,054	125,336	1,108,718	884.6	
イ	委託料	81,289	67,386	13,903	20.6	ボイラー更新工事、吸引ポンプ更新工事等
②	資産購入費	1,152,765	57,950	1,094,815	1,889.2	病院情報システム更新委託、改訂及び機能強化対応作業業務委託
	備品購入費	157,725	130,844	26,881	20.5	
	下水道受益者負担金	156,403	130,844	25,559	19.5	医療機器等購入費
		1,322	0	1,322	皆増	
2	企業償還金	444,418	364,040	80,378	22.1	
3	投資	15,720	18,120	▲ 2,400	▲ 13.2	
①	長期貸付金	15,720	18,120	▲ 2,400	▲ 13.2	
ア	看護師等修学資金貸付金	6,120	8,520	▲ 2,400	▲ 28.2	
イ	医師確保修学資金貸付金	9,600	9,600	0	0.0	

貸借対照表の推移

(単位：千円、税抜き)

	令和7年度 (決算) ①	令和6年度 (決算) ②	比較増減 ①-②	比較増減% (①-②)/②	項目の説明
資産の部	10,351,590	9,931,168	420,422	4.2	
1 固定資産	7,583,067	7,022,584	560,483	8.0	
(1) 有形固定資産	7,473,671	6,939,032	534,639	7.7	
イ 土地	1,193,307	1,193,307	0	0.0	
ロ 建物	9,727,448	9,727,447	1	0.0	
同減価償却累計額	▲ 6,868,439	▲ 6,651,085	▲ 217,354	▲ 3.3	
ハ 建物附属設備	5,030,645	4,946,833	83,812	1.7	病院設備等工事
同減価償却累計額	▲ 4,065,157	▲ 3,974,426	▲ 90,731	▲ 2.3	
ニ 構築物	1,058,993	1,058,993	0	0.0	
同減価償却累計額	▲ 932,121	▲ 925,313	▲ 6,808	▲ 0.7	
ホ 器械備品	6,102,270	4,946,901	1,155,369	23.4	医療機器の新規購入及び更新
同減価償却累計額	▲ 3,773,707	▲ 3,732,650	▲ 41,057	▲ 1.1	
ヘ 車両及び運搬具	8,916	8,917	▲ 1	▲ 0.0	
同減価償却累計額	▲ 8,484	▲ 8,484	0	0.0	
(2) 無形固定資産	77,168	56,016	21,152	37.8	
イ ソフトウェア	75,538	94,833	▲ 19,295	▲ 20.3	
ロ その他	1,630	1,670	▲ 40	▲ 2.4	
(3) 投資その他の投資	32,228	27,536	4,692	17.0	
イ 破産更生債権等	952	478	474	99.2	未収金（3年以上経過したもの）
貸倒引当金	▲ 952	▲ 478	▲ 474	▲ 99.2	
ロ 長期貸付金	69,150	75,510	▲ 6,360	▲ 8.4	医師確保・看護師等修学資金貸付金
貸倒引当金	▲ 36,960	▲ 39,480	2,520	6.4	
ハ その他投資	38	38	0	0.0	
2 流動資産	2,768,523	2,908,584	▲ 140,061	▲ 4.8	
(1) 現金預金	1,632,825	1,177,303	455,522	38.7	
(2) 未収金	1,042,829	985,230	57,599	5.8	
貸倒引当金	▲ 11,265	▲ 11,484	219	1.9	
(3) 貯蔵品	103,959	106,662	▲ 2,703	▲ 2.5	
(4) 前払金	175	103	72	69.9	

負債の部	5,820,293	4,980,853	839,440	16.9	
3 固定負債	4,000,950	3,405,483	595,467	17.5	
(1) 企業債	3,200,020	2,406,051	793,969	33.0	
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,825,684	1,773,605	1,052,079	59.3	
ロ その他の企業債	374,336	415,929	▲ 41,593	▲ 10.0	特別減収補填債
(2) 引当金	800,930	999,432	▲ 198,502	▲ 19.9	
イ 退職給付引当金	800,930	920,138	▲ 119,208	▲ 13.0	
4 流動負債	1,597,157	1,288,412	308,745	24.0	
(1) 企業債	455,914	364,040	91,874	25.2	翌年度償還予定の企業債
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	414,321	402,825	11,496	2.9	
ロ その他の企業債	41,593	41,593	0	0.0	
(2) 未払金	759,826	559,386	200,440	35.8	
(3) 引当金	353,003	275,811	77,192	28.0	
イ 賞与引当金	296,707	256,838	39,869	15.5	
ロ 法定福利費引当金	56,296	46,826	9,470	20.2	

貸借対照表の推移

(単位：千円、税抜き)

			令和7年度 (決算) ①	令和6年度 (決算) ②	比較増減 ①-②	比較増減% (①-②)/②	項目の説明
	(4)	その他流動負債	28,414	46,415	▲ 18,001	▲ 38.8	預り金
	5	繰延収益	222,185	286,957	▲ 64,772	▲ 22.6	
	(1)	長期前受金	1,291,506	1,291,622	▲ 116	▲ 0.0	
	(2)	長期前受金収益化累計額	▲ 1,069,321	▲ 1,039,287	▲ 30,034	▲ 2.9	
資本の部			4,531,297	4,950,315	▲ 419,018	▲ 8.5	
	6	資本金	19,004,573	17,025,220	1,979,353	11.6	
	7	剰余金	▲ 14,473,276	▲ 11,356,207	▲ 3,117,069	▲ 27.4	
	(1)	資本剰余金	0	0	0	-	
	(2)	利益剰余金	▲ 14,473,276	▲ 11,356,207	▲ 3,117,069	▲ 27.4	
	イ	減債積立金	55,000	55,000	0	0.0	
	ロ	当年度未処理欠損金	14,528,276	12,815,286	1,712,990	13.4	
負債資本合計			10,351,590	9,931,168	420,422	4.2	

令和７年度 訪問看護事業特別会計決算

【歳 入】

単位：円

科 目	予算額	決算額	説 明
1 款 訪問看護療養費	39,953,000	44,424,863	
1 項			
1 目			
1 訪問看護療養費	37,166,000	40,806,904	訪問看護療養費 利用者 39.4人／月 訪問 350回／月
2 訪問看護利用料	2,787,000	3,617,959	自己負担金（訪問看護療養費の1割） その他利用料（時間外利用料、交通費等）
2 款 繰越金	75,000,000	59,047,729	前年度決算剰余金
3 款 諸収入	63,000	801,030	
1 項			
1 市預金利子	62,000	166,000	市預金利子
2 項			
1 雑入	1,000	635,030	雑入
合 計	115,016,000	104,273,622	

【歳 出】

単位：円

科 目	予算額	決算額	説 明
1 款 訪問看護事業費	87,850,000	59,608,187	
1 項			
1 目			
1 報酬	17,305,000	10,023,167	会計年度任用職員：看護師2人・事務員2人
2 給料	27,841,000	20,192,700	一般職：看護師 6人
3 職員手当等	24,952,000	17,529,387	一般職：看護師 6人 会計年度：看護師2人・事務員2人
4 共済費	13,391,000	9,486,606	〃
8 旅費	283,000	80,845	会計年度任用職員交通費、県内旅費
10 需用費	651,000	457,499	
消耗品費	229,000	170,752	トナー、リサイクルペーパー等
修繕料	280,000	252,955	車検、法定点検、タイヤ付け替え費用等
医薬材料費	142,000	33,792	手指消毒液等
11 役務費	612,000	511,715	電話料、タブレット通信使用料等
13 使用料賃借料	1,365,000	1,275,868	訪問看護衣リース、訪問看護介護システム利用料等
17 備品購入費	1,326,000	0	
18 負担金	111,000	48,400	関係機関年会費、研修会出席者負担金等
26 公課費	13,000	2,000	消費税
2 款 予備費			
1 項			
1 予備費	27,166,000	0	
合 計	115,016,000	59,608,187	

令和 7 年度 訪問看護ステーション実績

碧南市訪問看護ステーション

月	稼働日数	看護師数	実利用者数			登録者数		特別管理加算			訪問回数			訪問時間			がん患者 訪問回数	ターミナル加算			新規利用者数			死亡者数		
			医療	介護	全体	医療	介護	全体	医Ⅰ	医Ⅱ	介Ⅰ	介Ⅱ	医療	介護	全体	医療		介護	介護	医療	介護	介護	医療	介護	介護	在宅死
4月	21	11	35	80	115	35	84	7	4	8	11	315	539	854	305° 57'	397° 08'	171	2	0	2	8	3	2	1	0	
5月	20	11	37	78	115	36	83	6	8	6	11	327	510	837	307° 30'	363° 03'	167	4	1	5	2	4	4	2	0	
6月	21	11	35	79	114	37	81	6	5	6	13	310	549	859	293° 34'	405° 29'	110	0	2	3	3	1	0	3	2	
7月	22	11	36	77	113	36	80	6	8	7	15	369	558	927	347° 16'	412° 31'	155	0	1	2	2	1	1	1	1	
8月	20	11	42	75	117	42	79	6	10	9	10	385	500	885	344° 34'	373° 13'	210	1	0	7	2	1	1	1	0	
9月	20	11	42	75	117	42	76	8	7	9	13	437	507	944	393° 48'	369° 13'	209	4	0	3	1	4	4	1	0	
10月	22	11	42	75	117	43	77	7	8	8	11	380	521	901	347° 45'	390° 32'	156	2	0	2	5	2	2	0	0	
11月	18	11	40	72	112	45	74	7	7	7	10	356	430	786	320° 37'	323° 36'	145	0	0	0	1	0	0	1	0	
12月	20	11	43	72	115	45	76	6	8	8	10	366	489	855	346° 27'	369° 33'	158	1	0	4	1	1	0	0	0	
1月	19	10	40	75	115	45	74	4	10	8	10	358	485	843	335° 05'	367° 34'	194	0	3	2	3	0	0	4	3	
2月	18	10	42	71	113	42	75	5	9	8	9	313	425	738	284° 23'	317° 42'	156	3	0	1	2	3	3	0	0	
3月	21	10	39	72	111	38	77	4	11	8	9	284	501	785	259° 33'	370° 03'	121	1	0	2	3	2	1	0	0	
計	242	129	473	901	1374	486	936	72	95	92	132	4,200	6,014	10,214			1,952	18	7	33	33	22	18	14	6	
平均	20.2	10.8	39.4	75.1	114.5	40.5	78.0	6.0	7.9	7.7	11.0	350.0	501.2	851			162.7	1.5	0.6	2.8	2.8	1.8	1.5	1.2	0.5	
昨年	20.3	11.0	34.8	71.8	106.7	35.5	74.3	6.2	4.3	4.6	10.8	341.8	475.1	817			160.2	1.3	0.5	2.5	2.8	1.7	1.3	1.2	0.4	

令和 7 年度 緊急対応実績

碧南市訪問看護ステーション

区分 月	24 時間電話相談				緊急訪問（平日時間内含む）			
	内 訳				内 訳			
	件数	平日時間外	休日	深夜	件数	平日	休日	深夜
4 月	43	13	21	9	28	15	10	3
5 月	35	14	15	6	27	15	7	5
6 月	29	19	7	3	15	10	3	2
7 月	49	31	11	7	17	12	1	4
8 月	36	11	16	9	14	5	4	5
9 月	48	21	14	13	18	9	5	4
10 月	27	9	9	9	11	3	4	4
11 月	16	6	9	1	15	11	4	0
12 月	15	5	10	0	14	7	7	0
1 月	32	14	13	5	19	7	9	3
2 月	23	10	8	5	14	6	6	2
3 月	14	9	4	1	10	8	2	0
合計	367	162	137	68	202	108	62	32

令和 6 年度

合計	965	349	478	138	239	90	98	51
----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----

※ 開所時間 8：30～17：15
 深夜 22：00～翌6：00

令和7年度 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算

【歳 入】

単位：円

科 目	予算額	決算額	説 明
1 款 サービス収入	51,160,000	57,561,662	
1 項 1 目 1 訪問看護費収入	39,740,000	45,586,259	訪問看護費収入 利用者 75.1人／月 訪問 501.2回／月
2 目 1 居宅サービス 計画費収入	6,108,000	5,713,162	居宅サービス計画費収入 利用者 449人／年
2 項 1 目 1 自己負担金収入	5,312,000	6,262,241	自己負担分 その他利用料（交通費、特殊材料費等）
2 款 繰入金	298,000	238,000	一般会計繰入金
3 款 繰越金	26,590,000	29,465,181	前年度決算剰余金
4 款 諸収入	10,000	100,000	
1 項 1 市預金利子	9,000	68,000	市預金利子
2 項 1 雑入	1,000	32,000	雑入
合 計	78,058,000	87,364,843	

【歳 出】

単位：円

科 目	予算額	決算額	説 明
1 款 総務費	75,485,000	55,661,822	
1 項 1 目 1 報酬	8,907,000	0	
2 給料	28,521,000	24,818,100	一般職：看護師5人、作業療法士1人
3 職員手当等	23,645,000	19,644,471	〃
4 共済費	12,039,000	9,410,024	〃
8 旅費	168,000	17,380	県内旅費
10 需用費	769,000	564,446	
消耗品費	172,000	114,635	リサイクルペーパー、各種マニュアル等
修繕料	597,000	449,811	車検、法定点検等
11 役務費	315,000	308,413	集金代行手数料、賠償責任保険等
13 使用料賃借料	886,000	738,888	看護衣リース料、ペイジー端末接続基本料等
18 負担金	235,000	160,100	関係機関年会費、研修会出席者負担金等
2 款 サービス事業費	573,000	347,984	
1 項 1 目 10 需用費	493,000	284,369	
消耗品費	292,000	204,119	リハビリトレーニングアイテム、エプロン等
医療材料費	201,000	80,250	衛生材料、消毒薬品等
2 項 1 目 10 需用費	80,000	63,615	
消耗品費	80,000	63,615	FAXトナー、リサイクルペーパー
3 款 予備費	2,000,000	0	
合 計	78,058,000	56,009,806	

令和7年度 居宅介護支援事業所 事業実績報告

1. 目標件数 : 居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数

利用者（延べ件数）：480人/年（内訳 要介護1・2：280人、要介護3～5：200人、要支援1・2：0人）

2. 実績件数

利用者（延べ件数）：449人/年（内訳 要介護1・2：256人、要介護3～5：193人、要支援1・2：0人）

3. 実績の詳細

介護区分		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和7年度	人	70	186	117	52	24	449
	%	15.6%	41.4%	26.1%	11.6%	5.3%	100%
	区分別(人)	256		193			449
	区分別(%)	57.0%		43.0%			100%
令和6年度	人	113	126	144	59	38	480
	%	23.5%	26.3%	30.0%	12.3%	7.9%	100%
	区分別(人)	239		241			480
	区分別(%)	49.8%		50.2%			100%

4. 居宅介護支援報酬の詳細

	利用者	単価	=	金額
要介護1・2	248 人	11,316	=	2,806,368
要介護3・4・5	187 人	14,702	=	2,749,274
初回加算	17 人	3,126	=	53,142
退院退所加算・1回・無	5 人	4,689	=	23,445
退院退所加算・1回・有	4 人	6,252	=	25,008
退院退所加算・2回・無	5 人	6,252	=	31,260
退院退所加算・2回・有	1 人	7,815	=	7,815
退院退所加算・3回・有	0 人	9,378	=	0
入院時情報連携加算Ⅰ	13 人	2,605	=	33,865
入院時情報連携加算Ⅱ	12 人	2,084	=	25,008
緊急時居宅カンファレンス加算	0 人	2,084	=	0
ターミナルケアマネジメント加算	0 人	4,168	=	0
通院時情報連携加算	4 人	521	=	2,084
介護合計①	435 人			5,757,269
通常 介護予防支援	0 人	4,279	=	0
介護予防ケアマネジメントA	0 人	4,279	=	0
介護予防ケアマネジメントB	0 人	3,261	=	0
初回 介護予防支援	人	6,572	=	0
介護予防ケアマネジメントA	人	6,572	=	0
介護予防ケアマネジメントB	人	5,654	=	0
介護予防ケアマネジメントC	人	6,572	=	0
委託連携加算	人	3,126	=	0
支援合計②	0 人			0
①＋②	435 人			5,757,269

* 要支援・事業対象者は利用者の委託を受けていないため 0件であった

* 延べ利用者数は449人で前年度より 31人(増減率 6.4%)の減となった

* 要介護1・2の利用者が増加しており、要介護3・4・5は減少している

* 碧南市民病院からの新規の依頼は、できる限りお引き受けする方針としている

令和７年度碧南市民病院経営強化プランの進捗状況

○ 医療機能や医療の質、連携の強化等にかかる数値目標（ＫＰＩ目標値）

項目	指標	２０２５年 (実績)	２０２７年 (目標)	達成率 (%)
医療機能	新入院患者数	４，９６８人	６，４００人	７７．６％
	救急搬送患者数	３，３１０人	３，６００人	９１．９％
	救急入院率	３７．７％	４０％	９４．３％
	HCU病床稼働率	４０．４％	９０％	４４．９％
	手術件数	２，２００件	２，２００件	１００．０％
	全身麻酔件数	８８３件	７１０件	１２４．４％
	入退院支援件数	２，２５４件	２，５００件	９０．２％
医療の質	DPC入院期間Ⅱ以内割合	５９．３％	７０％	８４．７％
	平均在院日数	１３．３日	１２．５日	９３．６％
連携の 強化等	紹介率	５８．９％	７０％	８４．１％
	逆紹介率	５４．１％	７０％	７７．３％
その他	職員満足度点数（隔年）	６７．６点	６８．０点	９９．４％
	業務改善提案件数	５．３件/人	１．０件/人	５３０．０％
	市民講座開催件数	５回	１２回	４１．７％
	健康づくり活動参加数	１４回	１２回	１１６．７％

○ 経営指標に係る数値目標（ＫＰＩ目標値）

項目	指標	２０２５年 (実績)	２０２７年 (目標)	達成率 (%)
収支改善	経常収支比率	８１．７％	１０１％	８０．９％
	修正医業収支比率	７０．１％	９０％	７７．９％
収入確保	１日あたり入院患者数	１８６．０人	２３７人	７８．５％
	１日あたり外来患者数	５５２．７人	５９２人	９３．４％
	入院単価	５８，０５７円	５６，０００円	１０３．７％
	外来単価	１４，１９５円	１４，３００円	９９．３％
経費削減	材料費対医業収益比率	２３．８％	２１％	８６．７％
	経費対医業収益比率	２４．８％	１９％	６９．５％
	減価償却費対医業収益比率	８．６％	９％	１０４．４％
経営の安 定性	常勤医師数	５２人	５０人	１０４．０％
	職員離職率	６．１％	７．０％	１１２．９％

経営強化プランのアクションプラン実施状況

施策	課題項目	目指す姿及び目標	2025年度実施状況
救急・感染症・災害医療提供体制の確保	救急医療体制の整備	市内及び医療圏の救急医療体制を維持する	・経営悪化に伴い、夜間救急体制の見直しを検討した。令和8年4月から日当直医を2名体制から1名体制へ変更する。
	感染症対応の継続	新興感染症へも柔軟に対応する	・感染症対策として、感染マニュアルへ感染BCPを追加し、全職員に対して学習会・講演会を実施している。 ・感染症に対する相談窓口としてよろず外来を継続している。
	災害時対応の備え	災害時に柔軟に対応できるよう備える	・災害プロジェクトチームを中心に災害時における高度医療機器浸水対策訓練及び仮設トイレの設置訓練、医療ガス点検及び予備用ボンベへの切替訓練を実施した。
急性期機能の充実・病診連携の推進	ハイケアユニットの整備	ハイケアユニットを高稼働で運用する	・重症な急性期患者に対して、ハイケアユニットの活用を継続している。
	診療行為件数の向上	診療行為算定件数を増やす	・診療科ごとの件数及び稼働額を分析し、診療体制の見直しを図った。
	入院日数の適正化	DPC入院期間Ⅱ越えを減らす	・患者の状態に応じた適切な入院治療およびリハビリテーションを実施し、ADL（日常生活動作）の改善を図りつつ、入院日数の適正化を進めた。
	外来診療の充実	専門外来、検査患者の数を増やす	・患者ニーズを把握する中で、総合診療科医を招へいし、総合診療科新設の準備を進めた。
	病診・薬薬連携の推進	地域の診療所及び薬局との連携を深める	・紹介患者をスムーズに受け入れ、紹介患者数の増加、逆紹介率の向上につながる病診連携体制を推進し、かかりつけ医への訪問活動や紹介患者の受診連絡書の作成、医師会とのCPCカンファレンスの共同開催、地域医療連携委員会の開催等を継続している。 ・市内の医療機関と感染症対策について相互チェックを実施している。 ・薬剤師会との定例会議、共同勉強会を実施して薬薬連携を推進している。
回復期機能の充実・地域包	医療在宅介護連携の推進	地域の在宅医・介護施設との連携を深める	・ケアマネジャー、施設相談員、行政、訪問看護師等の連携担当者との連携強化を対象とした交流会や集まりへ参加している。

施策	課題項目	目指す姿及び目標	2025年度実施状況
括ケアシステムへの貢献	在宅復帰支援の充実	在宅復帰に向けて患者指導件数、リハビリを増やす	・ケアマネジャーや訪問診療医及び訪問看護ステーションとの連携カンファレンスを推進している。
	疾病重症化予防	疾病重症化予防を推進する	・看護師が介護施設等へ出向き、患者の状態を早期にアセスメントすることで、重症化する前に適切な受診に繋げる「ナースカー」事業の立ち上げを検討した。令和8年6月より実施。
	健康予防活動	行政と協働して健康予防活動を推進する	・市の出前講座の実施や院内での医療安全や糖尿病等に関する啓発イベント等を継続実施した。
病院間連携・役割分担、長期構想の検討	病病連携の推進	他病院と役割分担・連携強化を図る	・近隣病院との情報共有とともに診療科間の連携・役割分担を図り、救急搬送や外科症例の連携促進を図った。 ・感染症対策について地域の病院間で定期的な会議や相互チェックを実施している。
	病院間連携体制の強化	地域医療連携推進法人制度を活用する	・病院間連携体制に関する協議までは至っていない。
	長期的な病院のあり方	新たな病院体制を明確化する	・経営悪化に伴い緊急経営対策会議を開催し重点対策項目を中心に病院体制の見直しを図った。
生産性の向上、患者サービスの充実	タスクシフト・シェアの推進	職種間での業務連携を促進する	・入院支援センターにおける介入パス及び介入症例を増やし業務の拡大を図った。 ・病棟での血培養採取、心電図検査業務を看護師から検査技師にシフトした。
	業務の効率化	ICTを活用して業務の効率性を高める	・AIや音声認識技術を搭載した電子カルテの更新を行い、より迅速かつ正確な情報共有できるようになった。 ・電子カルテと連携するマイナンバーカードを利用した電子処方箋システムやバイタルデータ自動取込みシステム等を導入し業務の効率化を推進した。
	医療の質の評価	仕組みを整備し医療の質を継続的に高める	・インシデントアクシデントレポートの提出を強化するとともに、是正計画書の作成し、改善、実施及び評価をすることにより再発防止に努めている。 ・全国自治体病院協議会の医療の質の評価事業に参加している。 ・卒後臨床研修評価の受審をし認定を受けた。

施策	課題項目	目指す姿及び目標	2025年度実施状況
	患者サービスの充実	患者の利便性・快適性を高める	・患者相談窓口で看護師及びMSWによる外来相談支援対応を行っている。 ・スマホ等による来院前の事前問診を推進している。
	院外広報の推進	認知度・口コミ評判を高める	・院内イベントの開催及び広報誌、SNS等の活用により、情報発信を推進している。
	業務改善の推進	職員及び組織の業務改善意識を高める	・業務改善提案制度及び業務改善プロジェクトにより、業務改善を推進している。
職員の働きやすい環境の整備と人材の確保	人事考課・評価制度の充実	補助者待遇の改善、評価制度を効果的に運用する	・会計年度任用職員の処遇改善及び看護師の夜勤業務に対する処遇改善は実施済みである。
	医療スタッフの働き方改革	多様な働き方を選べる職場環境を目指す	・医師の働き方改革への対応を図るとともに、救急医療等の継続確保のため、特定労務管理対象機関の指定を継続している。 ・勤務内容により勤務体制を柔軟化するため、変形労働時間制を検討し2024年4月から開始した。
	コミュニケーションの活性化	職員間のコミュニケーションを促進する	・スマイルカード（感謝や賞賛を職員間で伝え合うツール）やイベントカレンダーの活用、院内広報、多職種会議の開催により、職員の情報共有、コミュニケーションの活性化を推進している。
	人が育つ職場改革	職員個々のキャリアデザインを支援する	・職階別研修の充実、資格取得支援などのキャリア支援及び教育体制の充実を図っている。
	必要な人材の採用	病院機能に応じた必要なスタッフ数を確保する	・常勤医師の招へいに努め、循環器内科医を採用した。 ・病院機能に応じた適正な人員配置になるよう抜本的な見直しを推進している。
	採用広報の推進	効果的な採用活動を行う	・遠隔地も含む就活イベントへの参加や復職者を対象とした多様な採用活動を積極的に行っている。
持続可能な経営管理体制の整備	病院経営管理体制及び企画機能の強化	問題解決力、企画実行力を高める	・幹部会議の頻度を増やし、病院内の問題及び課題の把握、解決に向けた協議を実施している。 ・緊急経営対策会議を開催し、経営改善に向けた取組みを推進している。
	経営形態の見直し	迅速かつ柔軟な意思決定組織を目指す	・地方公営企業法全部適用を含めた病院のあり方について多方面から検討してい

施策	課題項目	目指す姿及び目標	2025年度実施状況
		す	る。
	目標管理及び情報共有	自律的な組織運営を目指す	・診療科ごとに病院長とのヒアリングを実施し、目標設定や課題の洗い出しを行った。
	収益の確保	収益の向上、診療報酬請求精度を高める	・総合診療科の新設や不採算診療科の縮減など、収益の増加や費用の抑制について抜本的な見直しを推進している。 ・診療報酬改定に対応し、加算の見直しを行い、最大限の収益を得られるよう検討を進めている。
	コスト抑制・管理体制の強化	費用の抑制、職員のコスト意識、管理意識を高める	・増加する給与費を抑えるため、不採算診療科の縮減や新規職員採用の一時停止などを行った。 ・経営悪化に伴い、インセンティブ手当を当面の間、廃止することとした。

緊急経営対策における取り組みの評価

市議会協議会で提示した改善項目及び影響額		令和8年度5月末見込み																	
ア 重点対策項目について																			
(7) 医師及び非常勤医師の精査 ・常勤医師 66人→65人 (△1人) ・非常勤医師 (常勤換算) 18.0人→11.5人 (△6.5人) (4) 不採算診療科の在り方の検討 影響額 300,217千円 (a) 総合診療科の新設等による医業収益の増 571,374千円 (b) 診療停止等による医業収益の減 294,590千円 (c) 産科の分娩停止による繰入金の減 44,801千円 (d) 人件費の削減等 68,234千円		(7) 医師及び非常勤医師の精査 ・常勤医師 66人→62人 (△4人) ・非常勤医師 (常勤換算) 18.0人→12.7人 (△5.3人) (4) 不採算診療科の在り方の検討 影響額 304,512千円 (4,295千円の増) (a) 総合診療科の新設等による医業収益の増 536,607千円 (34,767千円の減) (b) 診療停止等による医業収益の減 280,187千円 (14,403千円の減) (c) 産科の分娩停止による繰入金の減 44,801千円 (d) 人件費の削減等 92,893千円 (24,659千円の増)																	
(9) 夜間救急体制の制限の検討 影響額 22,887千円 (a) 人件費の削減 72,887千円 (b) 救急患者数の減少 50,000千円		(9) 夜間救急体制の制限の検討 影響額 35,917千円 (13,030千円の増) (a) 人件費の削減 55,917千円 (16,970千円の減) (b) 救急患者数の減少 20,000千円 (30,000千円の減)																	
イ その他の検討項目について																			
(7) 基準内繰入金の範囲内での事業運営 影響額 401,700千円 (a) 入院患者の受入れ増加 448,500千円 (b) 病棟看護配置基準の見直し 20,400千円の減 (c) ハイケアユニット入院料の取下げ 26,400千円の減		(7) 基準内繰入金の範囲内での事業運営 影響額 189,965千円 (211,735千円の減) (a) 入院患者の受入れ増加 249,309千円 (199,191千円の減) ※11月から5月までの実績 145,430千円 (b) 病棟看護配置基準の見直し 18,700千円の減 (1,700千円の減) (c) ハイケアユニット入院料の取下げ 40,644千円の減 (14,244千円の増) ※R7年度月平均3,387千円																	
(4) 新規職員採用の一時停止 影響額 175,700千円		(4) 新規職員採用の一時停止 ※令和9年度採用分より 影響額 175,700千円																	
(9) 医療機器の新規購入の一時停止 影響額 26,000千円		(9) 医療機器の新規購入の一時停止 ※令和8年度購入分より (参考) 令和8年度購入決定状況 <table><tr><td>影響額</td><td>26,000千円</td><td>予算要求</td><td>80件、325,691,287円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>予算査定</td><td>10件、86,666,000円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>(予備 30,000,000円含む)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>内、新規</td><td>2件、4,070,000円</td></tr></table>		影響額	26,000千円	予算要求	80件、325,691,287円			予算査定	10件、86,666,000円				(予備 30,000,000円含む)			内、新規	2件、4,070,000円
影響額	26,000千円	予算要求	80件、325,691,287円																
		予算査定	10件、86,666,000円																
			(予備 30,000,000円含む)																
		内、新規	2件、4,070,000円																
(x) 収入増加に向けた取組み 影響額 25,317千円 (a) 心臓カテーテル治療アブレーションの新設 8,400千円 (b) 歯科口腔外科におけるインプラント等の料金の見直し 5,300千円 (c) 分べん料、文書料等の見直し 11,617千円 (d) 肺ドック等単体がん検診及び専門的なドックの実施に向けた検討		(x) 収入増加に向けた取組み 影響額 19,198千円 (6,119千円の減) (a) 心臓カテーテル治療アブレーションの新設 4,192千円 (4,208千円の減) ※11月から5月までの実績 2,446千円 (6件) (b) 歯科口腔外科におけるインプラント等の料金の見直し 4,070千円 (1,230千円の減) ※7月1日から料金改定 (c) 分べん料、文書料等の見直し 9,000千円 (2,617千円の減) (d) 肺ドック等単体がん検診及び専門的なドックの実施 1,936千円 ※肺ドック、メンズ前立腺ドックを7月1日から実施																	
ウ 病院経営の危機を踏まえた今後の国及び県からの支援																			
(7) 国補助金 139,725千円 (4) 県補助金 17,340千円 (9) 診療報酬改定 59,743千円 影響額 216,808千円		(7) 国補助金 139,725千円 (4) 県補助金 17,340千円 (9) 診療報酬改定 67,074千円 影響額 224,139千円 (7,331千円の増)																	
エ 影響額計																			
令和7年度 157,065千円 令和8年度 823,354千円 令和9年度 1,054,600千円		令和7年度 157,065千円 令和8年度 661,467千円 (161,887千円の減) 令和9年度 921,948千円 (132,652千円の減)																	